

# 建設投資の減少続く

## 民間住宅・非住宅は好調持続

### 建設経済研究所・経済調査会

建設経済研究所と経済調査会がまとめた19、20年度の「建設経済モデル」による建設投資の見通しによると、19年度の建設投資は前年度比0・8%減の51兆8500億円とわずかに減少する見込み。20年度も前年度比1・1%減の51兆3000億円と、引き続きマイナスの予想。その中で、民間住宅・非住宅建設投資は堅調に推移する。建設投資全体の推移について、レポートでは「19年度は企業収益の改善で景気回復が続く」とみているほか、20年度についても「個人消費・設備投資の伸びが高まり、自立的な回復の色彩が強まる」としている。

19年度の政府建設投資は前年度比7・5%減の17兆5000億円。民間住宅建設投資は1・3%減の3500億円を予測。民間非住宅建設投資は民間土木投資が4%増、民間非住宅建設投資も5・2%増え、全体では4・7%増の15兆4500億円と、4年連続のプラスを見込んでいる。

### 来月の「木蔭」欄 担当者決まる

8月の木蔭は次の2氏が担当します。

◇1日(水)、22日(水)

梶正 寛治氏  
(鹿兒島労働局長)



◇8日(水)、29日(水)

中村 哲也氏  
(西日本建設業保証協  
鹿兒島支店長)



20年の政府建設投資は前年度比7・4%減の15兆7900億円となる見込み。民間住宅投資につ

## 県、士会を景観整備機構に 良好な景観に一役



伊藤知事と記念写真に納まる会員  
＝鹿兒島市の県庁知事室で

県は24日、景観法に基づき県建築士会を景観整備機構として指定した。県の指定は初めてとなる。士会は地域住民に

よる景観まちづくり活動に対し専門家の派遣や情報提供などを実施し、良好な景観形成の一役を担う。知事室であった指定書授与式には、県建築士会から守真和弘会長をはじめ、まちづくり委員会メンバーらが出席。伊藤祐一郎知事が指定通知書を読み上げ、守真会長に手渡した。

続いて、歓迎に移り、守真会長は「建築士会は、景観に関する建築技術等の研さんさらに深めることにも、これまで蓄積したノウハウを駆使して地域の住民の方々の主体的な景観まちづくりに支援・協力し、地域貢献活動にこれからも取り組ん

建設投資も全体で4・2%増の16兆1000億円を予測している。全体では、3年連続で増加した。18年度の住宅着工戸数は、前年度比2・9%増の128・5万戸となり、19年度の住宅着工戸数も18年度並みを予測。持

景観整備機構は、民間団体や市民による自発的な景観の保全・整備の一層の推進を図る観点から、一定の景観の保全・整備能力を有する公益法人、またはNPO法人を景観行政団体の長が指定し、良好な景観形成を担う主体として位置づける制度。指定する業務の内容は、①良好な景観の形成に関する事業を行う者に対し、当該事業に関する知識を有する者の派遣、情報の提供、相談その他の援助②良好な景観の形成に関する調査研究③その他、良好な景観の形成を促進するために必要な業務となっている。

## 倉橋 利一



業化学科と順番が回っている。特に、昨年は母校の甲子園初出場が重なるので、記念すべき同窓会となった。

## 母校への思い

意外にも他県では、卒業生全体で行う同窓会が深く、先輩と後輩との

つなかりを生徒大切にする心が根強く残っている証拠だろうと思う。私も同窓会を行う際、母校の関東支部などに訪れる機会があり、挨拶をさせて頂いたのが、ほぼ毎月に近いペースで支部会が開かれているのに驚いた。特に有難いことに100周年が近づいている為、その募金などに関係する話題も結構多く、地元から遠く離れた先輩方が懐かし、100周年に向けて活動に取り組んでいただい

## 県大店舗立地審

## 3案件を県に答申



このほか、諮問案件(次回答申予定)の鹿兒島ふるさと物産館の新設など8件と、新規に出があったケー・スプリング薩摩川内店新設など3件の概要説明等も行われた。

指商店の新設、ヤマダ電機テックランド鹿兒島北店・COOPかごしま城西店の店舗面積等の変更、マックスバリュ西原店の増床等の変更の計3件。このうち、ヤマダ電機テックランド鹿兒島北店・COOPかごしま城西店については、交通安全対策などを求めた参考意見を寄った。

第44回県大規模小売店舗立地審議会(会長・宮廻南光鹿兒島大学法学部教授)が20日、鹿兒島市の県庁であった写真

建設業の詳しい情報は...

<http://www.kc-news.co.jp>

業者格付・県市町村予算  
発注予定工事等  
情報は盛りだく

お問い合わせ：  
099-222-6

無料体験実施中